

# 決算に関する特別委員会

## 令和3年度歳入歳出決算・ 令和4年度補正予算などを審議



決算に関する特別委員会  
委員長 藤田 一則

決算に関する特別委員会は、委員長に藤田一則議員、副委員長に岩谷司議員が選任され、9月5日から7日までの3日間にわたって、令和3年度決算関係議案8件、令和4年度補正予算関係議案8件、条例に関する議案1件、工事の請負契約の件1件、合計18件について審議しました。

審議の過程では、各般にわたり十分に議論が尽くされ、多くの意見・要望事項が提言されました。その中から7項目を抜粋しました。

### 委員長報告

- 1 世帯数の減少や高齢化により納税貯蓄組合の組合員が年々減少している。町税等の徴収率向上を図る上で当該組合の果たす役割は大きいことから、当該組合へ交付する奨励金を増額するなどし、今後の活動に対する支援と存続を図るよう努めていただきたい。
- 2 消防団員の退団が後を絶たない状況から、さらなる団員確保及び退団抑止策を講じていただきたい。
- 3 除雪オペレーターの高齢化、除雪体制の維持や技術の伝承といった課題解消に向け、中長期的に人材の確保・育成をし、さらなる安全で円滑な道路交通の確保、地域住民が安全・安心に暮らせる生活環境の確保に取り組んでいただきたい。
- 4 この度の豪雨で被災した農地・農業用施設の復旧に係る受益者分担金の負担は、農業経営のひっ迫、今後の営農意欲減退、耕作放棄地の増大を招くおそれがあるため、減免など支援策を講ずるべきである。
- 5 ナラ枯れ被害が目に見えて急拡大しており、景観の悪化や山地災害防止機能、水源かん養機能などへの影響が懸念される。さらなる被害防止に全力で取り組んでいただくとともに、資源循環の観点から、ナラ枯れ被害材の効率的・効果的な利活用方策にも取り組んでいただきたい。
- 6 小学生が所属するスポーツ団体等に対しても、県大会以上の大会等にスポーツ奨励費補助金を交付するなど検討していただきたい。
- 7 公共土木施設等の災害復旧に当たっては、この度の被災規模を勘案し、施設機能の強化等を図った改良復旧を実施していただきたい。

質疑応答

【納税貯蓄組合】  
奨励金を増やして！

問 岩谷委員

納税貯蓄組合の組合員数が  
どんどん減ってきている。徴  
収率確保と高齢者世帯の見守  
りも兼ねて、奨励金を増額で  
きないか。

答 山下税務会計課長

確かに奨励金は低いと思う  
ので検討したい。

答 吉田町長

納税貯蓄組合の組合長の御  
苦勞には感謝している。全部  
ではないが、組合長の高齢化  
など厳しい状況でもある。滞  
納の改善など組合長がいるか  
ら維持しているので、広く考え

て対応する必要がある。素直  
に有り難く承って、協議した  
い。



【消防団員】  
退団が増加  
何とかできないか！

問 工藤委員

最近、30年過ぎたから消防  
団員を辞めるといった方が増  
えている。退職金の関係もあ  
るらしいが、団員として継続  
して活動できるように検討で  
きないか。

答 堀内総務課長

若い団員の退団が特に目立  
っている。今後、幹部会議等  
でこの件を議題として、退団

の抑制に幹部も含めて本気で  
検討していく。



【除排雪】  
除雪オペの  
確保・技術伝承！

問 今委員

昨年度は大変な大雪だった。  
除雪事業者や除雪重機のオペ  
レーターも高齢化、後継者不  
足など課題はあるが、今後の  
除雪体制はどうなのか。

答 松沢建設水道課長

すでに令和4年度の除雪体  
制について事業者へ意向調査  
を行っている。町民生活に支

障がないように対応して行き  
たい。



【公園管理】  
県にお願い  
できないか！

問 岩根委員

追良瀬川の公園を自治会が  
草刈りなど管理をしているが、  
8月豪雨で大きい石だらけに  
なってしまい全く草刈り機が  
使えないような状況になって  
しまった。重機で大きい石を  
撤去するなど県にお願いでき  
ないものか。

答 鶴田財政課長

追良瀬川の増水で大変な状  
況は確認している。追良瀬河  
川公園は、県管理なので対応  
をお願いしていきたい。



【農地等災害】  
受益者分担金を  
免除しては？

問 小野委員・岩谷委員

豪雨で田んぼへの用水施設  
が大打撃を受けた。来年、米  
を作れないぐらい被害を受け  
ている。農業者の高齢化で減  
っている。この度の豪雨によ  
る農地災害復旧に係る受益者  
負担金を町で持てないか？





**【答】** 松沢建設水道課長  
 農業用施設災害復旧事業が適用になる。通常の災害の場合、受益者負担が事業費の10パーセント、激甚災害の指定となり受益者が2人以上であれば、事業費の5パーセントになる。一方で農地、田んぼは激甚が指定されてもされなくとも事業費の10パーセントの負担となる。農家の方々と協議をして復旧事業を進めたい。



**【漁業(磯回り)】**  
**【補助などないの?】**  
**【問】** 大川委員  
 磯のサザエ、ウニ、もずくなどが8月豪雨以来、川の濁流で海が濁って全然水揚げできない状態だ。何か補助などないものか。

**【答】** 吉田町長  
 大雨以来、磯回り漁が不漁だということも漁業被害。どのくらいの期間で元に戻るのか、追跡調査をする必要がある。



**【ナラ枯れ】**  
**【景観が悪い 何らかの対策は!】**  
**【問】** 小野委員  
 ナラ枯れが目に見えて拡大している。このまま黙ってれば景観の悪化などどうなるのか心配だ。

**【答】** 山本農林水産課長  
 ナラ枯れ、松枯れは、県の事業で、町としては、監視や発見したら連絡する立場なので、県には速やかに伝えていく。



**【スポーツ】**  
**【奨励費補助金 交付しては?】**  
**【問】** 岩谷委員  
 小学生がいるスポーツ団体の指導者はボランティアでやっている。県大会以上に進んだ場合、補助金を交付してはどうか。

**【答】** 草創教育長  
 関係各町村の様々なデータを収集して、何ができるかを真面目に検討したい。



**【災害復旧】**  
**【現状復旧ではなく 強固なものに!】**  
**【問】** 大高委員  
 災害復旧と言うのは、現状復旧が概念だが、もっと強固なものに作れないものか。

**【答】** 松沢建設水道課長  
 同感であり、強化した方法で復旧を進めたい。